



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	39,452	38.3	273	—	226	—	175	—
2020年3月期	28,517	7.8	△813	—	△893	—	△296	—

(注) 包括利益 2021年3月期 175百万円 (—%) 2020年3月期 △923百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	0.61	—	2.7	2.8	0.7
2020年3月期	△1.03	—	△4.5	△11.5	△2.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,268	6,568	79.4	22.68
2020年3月期	7,756	6,402	82.4	22.07

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,568百万円 2020年3月期 6,392百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	622	△43	441	3,958
2020年3月期	925	△19	438	2,938

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,500	0.7	30	△58.9	20	△58.3	10	△75.6	0.03
通期	39,400	△0.1	140	△48.7	70	△69.0	40	△77.1	0.14

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	289,747,982 株	2020年3月期	289,747,982 株
2021年3月期	102,416 株	2020年3月期	100,360 株
2021年3月期	289,646,578 株	2020年3月期	289,648,456 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	38,664	34.3	320	△8.8	228	△12.0	177	△23.7
2020年3月期	28,791	18.1	351	—	259	—	232	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	0.61	—
2020年3月期	0.80	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	8,254	6,570	79.6	22.69
2020年3月期	7,710	6,393	82.9	22.07

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,570百万円 2020年3月期 6,393百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言・営業活動自粛等により、経済活動の停滞や個人消費の低迷等厳しい状況で推移いたしました。一部の地域ではワクチン接種が開始されたことや、一時的に景気を持ち直しの動きがあったものの、感染症再拡大による国内外経済の下振れリスクや金融資本市場の変動の影響等、予断を許さない状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は貴金属市況において金価格は、コロナ禍後のインフレリスクや、世界各国での金融緩和策等を背景に安全資産として金需要が増加したことから大幅に上昇いたしました。業績につきましては、海外宝飾展等のイベントの中止があったものの、金・白金族の集荷量が増加したことにより工場稼働率が高水準で推移したことや貴金属価格の上昇が寄与したことから概ね堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買環境は良好であるものの、地価の高止まりによる仕入価格の高騰や都心オフィス市場の空室率が上昇に転じ賃料水準の下落が懸念される等、先行き不透明な状況で推移し、業績は低調に推移いたしました。機械市況においては、中国をはじめとする一部市場では持ち直しの動きが見られるものの、米中貿易摩擦や世界経済の減速により企業の投資マインドは縮小しており、内外需ともに受注が減少したことから業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部商品の発売延期や物販イベントが延期・中止となったものの、アニメ関連グッズの販売が好調であったことから、業績は好調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は39,452,935千円(前年同期28,517,805千円 38.3%増)、営業損益273,608千円の利益(前年同期は813,478千円の損失)、経常損益は226,973千円の利益(前年同期は893,930千円の損失)、親会社株主に帰属する当期純損益は175,665千円の利益(前年同期は296,966千円の損失)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は36,220,583千円(前年同期25,859,937千円)、営業損益は340,631千円の利益(前年同期202,687千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は159,202千円(前年同期1,271,502千円)、営業損益は49,688千円の損失(前年同期331,358千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は805,221千円(前年同期1,009,031千円)、営業損益は41,013千円の損失(前年同期14,976千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は29,519千円の損失(前年同期1,307,201千円の損失)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は2,241,362千円(前年同期1,591,532千円)、営業損益は427,661千円の利益(前年同期355,997千円の利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末より524,868千円増加し、5,933,724千円となりました。

増加の主なものは、現金及び預金の増加(2,938,318千円から3,958,425千円へ1,020,107千円の増加)であります。

減少の主なものは、商品及び製品の減少(1,268,276千円から1,059,730千円へ208,546千円の減少)及び販売用不動産の減少(100,113千円の減少)であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末より12,927千円減少し、2,334,839千円となりました。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末より258,260千円増加し、1,274,117千円となりました。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末より87,873千円増加し、426,177千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末より165,805千円増加し、6,568,268千円となりました。

増加の主なものは、利益剰余金の増加(175,086千円から350,752千円へ175,665千円の増加)であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,020,107千円増加し、3,958,425千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は622,834千円（前連結会計年度は925,554千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益229,493千円及びびたな卸資産の減少額221,810千円等による資金の獲得があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は43,828千円（前連結会計年度は19,902千円の使用）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は441,102千円（前連結会計年度は438,951千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入150,000千円及び非支配株主からの払込みによる収入319,400千円等による資金の獲得があったことによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	89.7	85.8	82.4	79.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	102.9	74.3	56.0	112.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

（注1）各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展や、各国の経済対策により、経済活動は持ち直していくことが期待されるものの、他方、地域によっては依然感染拡大が続いており収束は未だ見えない状況にあります。

こうした状況の下、当社グループにおいてはコロナ禍後のインフレリスクや各国の金融緩和策等を背景に安全資産としての金需要の増加、排ガス浄化触媒等の環境持続可能性に向けた白金族需要の増加から今後も貴金属需要が見込まれると予想されるものの、大規模イベントの中止・延期に伴う受注・販売機会の損失等、当社業績に与える影響は先行き不透明な状況が続くと予想されます。

2022年3月期の連結業績予想については、売上高39,400,000千円、営業利益140,000千円、経常利益70,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益40,000千円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、海外での活動が限定されているため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社の I F R S（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、I F R S 適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,938,318	3,958,425
売掛金	415,770	418,430
商品及び製品	1,268,276	1,059,730
仕掛品	329,687	395,151
原材料及び貯蔵品	18,360	26,578
販売用不動産	100,113	—
仕掛不動産	—	13,167
預け金	328	229
その他	378,069	102,080
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	5,408,855	5,933,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,169,251	1,170,820
減価償却累計額	△615,352	△662,642
建物及び構築物 (純額)	553,899	508,177
機械装置及び運搬具	504,512	525,475
減価償却累計額	△451,224	△467,149
機械装置及び運搬具 (純額)	53,288	58,326
土地	1,472,391	1,472,391
その他	119,199	149,990
減価償却累計額	△101,583	△110,262
その他 (純額)	17,616	39,728
建設仮勘定	5,000	—
有形固定資産合計	2,102,195	2,078,623
無形固定資産		
コンテンツ資産	—	10,840
その他	12,403	12,996
無形固定資産合計	12,403	23,836
投資その他の資産		
投資有価証券	100,071	100,071
出資金	10,105	10,105
長期未収入金	400,915	400,915
敷金及び保証金	115,243	116,383
その他	7,747	5,819
貸倒引当金	△400,915	△400,915
投資その他の資産合計	233,167	232,379
固定資産合計	2,347,767	2,334,839
資産合計	7,756,623	8,268,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,440	190,688
短期借入金	550,000	600,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	55,666	64,286
未払金	23,028	33,612
未払法人税等	65,186	54,259
ポイント引当金	2,600	3,600
その他	128,934	277,670
流動負債合計	1,015,856	1,274,117
固定負債		
長期借入金	105,211	170,415
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	12,708	12,695
繰延税金負債	8,976	10,619
資産除去債務	207,455	207,455
その他	—	21,040
固定負債合計	338,303	426,177
負債合計	1,354,160	1,700,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	175,086	350,752
自己株式	△31,279	△31,344
株主資本合計	6,392,734	6,568,334
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△71	△65
その他の包括利益累計額合計	△71	△65
非支配株主持分	9,800	—
純資産合計	6,402,462	6,568,268
負債純資産合計	7,756,623	8,268,563

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	28,517,805	39,452,935
売上原価	27,842,948	37,716,999
売上総利益	674,857	1,735,936
販売費及び一般管理費	1,488,335	1,462,328
営業利益又は営業損失(△)	△813,478	273,608
営業外収益		
受取利息及び配当金	817	4,373
国庫補助金収入	9,455	20,058
保険金収入	610	720
その他	6,785	7,761
営業外収益合計	17,669	32,913
営業外費用		
支払利息	12,134	6,719
休山管理費	70,485	64,740
その他	15,501	8,087
営業外費用合計	98,121	79,548
経常利益又は経常損失(△)	△893,930	226,973
特別利益		
固定資産売却益	78	—
投資有価証券売却益	10,251	—
補助金収入	—	7,655
特別利益合計	10,329	7,655
特別損失		
固定資産除却損	8,534	0
操業休止関連費用	—	5,134
特別損失合計	8,534	5,134
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	△892,134	229,493
法人税、住民税及び事業税	35,230	52,184
法人税等調整額	△4,274	1,643
法人税等合計	30,956	53,828
当期純利益又は当期純損失(△)	△923,090	175,665
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△626,124	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△296,966	175,665

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△923,090	175,665
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5	5
その他の包括利益合計	△5	5
包括利益	△923,096	175,670
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△296,971	175,670
非支配株主に係る包括利益	△626,124	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益 累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計		
当期首残高	6,248,926	472,053	△31,243	6,689,736	△65	△65	9,973	6,699,643
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△296,966		△296,966				△296,966
自己株式の取得			△35	△35				△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—	△5	△5	△173	△178
当期変動額合計	—	△296,966	△35	△297,002	△5	△5	△173	△297,180
当期末残高	6,248,926	175,086	△31,279	6,392,734	△71	△71	9,800	6,402,462

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益 累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計		
当期首残高	6,248,926	175,086	△31,279	6,392,734	△71	△71	9,800	6,402,462
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		175,665		175,665				175,665
自己株式の取得			△64	△64				△64
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—	5	5	△9,800	△9,794
当期変動額合計	—	175,665	△64	175,600	5	5	△9,800	165,805
当期末残高	6,248,926	350,752	△31,344	6,568,334	△65	△65	—	6,568,268

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△892,134	229,493
減価償却費	79,733	79,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,068	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	800	1,000
受取利息及び受取配当金	△817	△4,373
支払利息	12,134	6,719
国庫補助金収入	△9,455	△20,058
補助金収入	—	△7,655
保険金収入	△610	△720
有形固定資産売却損益(△は益)	△78	—
有形固定資産除却損	8,534	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,251	—
操業休止関連費用	—	5,134
売上債権の増減額(△は増加)	△191,394	△2,659
たな卸資産の増減額(△は増加)	307,273	221,810
仕入債務の増減額(△は減少)	70,060	50,247
未払金の増減額(△は減少)	△1,010	783
預け金の増減額(△は増加)	1,481,800	99
その他	55,061	99,455
小計	934,713	658,830
利息及び配当金の受取額	657	4,367
利息の支払額	△12,133	△6,719
国庫補助金の受取額	9,455	20,058
補助金の受取額	—	7,655
保険金の受取額	610	720
操業休止関連費用の支払額	—	△5,134
法人税等の支払額	△7,749	△56,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	925,554	622,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,939	△23,087
有形固定資産の売却による収入	97	—
無形固定資産の取得による支出	△4,733	△18,840
投資有価証券の売却による収入	12,126	—
敷金保証金の増加による支出	△1,543	56
敷金保証金の減少による収入	971	△1,953
その他	117	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,902	△43,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	—
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△111,013	△76,176
リース債務の返済による支出	—	△2,057
非支配株主からの払込みによる収入	300,000	319,400
自己株式の取得による支出	△35	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	438,951	441,102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,344,603	1,020,107
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,714	2,938,318
現金及び現金同等物の期末残高	2,938,318	3,958,425

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、経済活動や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、当社グループは、2022年3月期においてもその影響が続くものと想定しております。当該仮定に基づき、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行った結果、当連結会計期間の財政状態及び経営成績に重要な影響はありません。なお、この仮定は不確実性が高いため、収束が遅延し、影響が長期化した場合には、翌連結会計期間以降の財政状態及び経営成績の状況に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類・サービス別のセグメントから構成されており、「貴金属事業」、「不動産事業」、「機械事業」、「投資事業」、「コンテンツ事業」の5つを報告セグメントとしております。

「貴金属事業」は、貴金属・美術品・ダイヤモンド・宝飾品の販売、金・銀・白金・パラジウム地金の生産販売、含金銀非鉄金属の仕入販売等を行っております。「不動産事業」は、分譲・賃貸マンションの販売、不動産の売買、仲介、賃貸及び保守管理並びに企画開発等を行っております。「機械事業」は、中古工作機械・钣金機械等の仕入販売を行っております。「投資事業」は、有価証券の保有、売買、運用その他の投資を行っております。「コンテンツ事業」は、アニメ、コミック、ゲーム等のキャラクター関連商品の企画・製作・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの損益は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ事業	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	25,859,937	1,256,772	1,009,031	△1,267,750	1,591,532	28,449,524
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730	—	—	—	14,730
計	25,859,937	1,271,502	1,009,031	△1,267,750	1,591,532	28,464,254
セグメント利益又はセグメント損失(△)	202,687	331,358	△14,976	△1,307,201	355,997	△432,134
セグメント資産	1,853,888	1,489,106	1,140,389	319,694	972,967	5,776,046
その他の項目						
減価償却費	8,369	27,854	19,565	—	5,399	61,188
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,122	—	—	—	2,708	13,831

	その他	合計
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	68,281	28,517,805
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730
計	68,281	28,532,535
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△11,740	△443,874
セグメント資産	126,909	5,902,956
その他の項目		
減価償却費	17,281	78,470
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	13,831

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ事業	計
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	36,220,583	144,472	802,881	—	2,241,362	39,409,300
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730	2,340	—	—	17,070
計	36,220,583	159,202	805,221	—	2,241,362	39,426,370
セグメント利益又はセグメント損失(△)	340,631	△49,688	△41,013	△29,519	427,661	648,071
セグメント資産	2,097,864	1,388,846	1,398,746	0	1,593,367	6,478,824
その他の項目						
減価償却費	17,074	27,397	11,361	—	7,238	63,071
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	37,567	—	—	—	17,938	55,506

	その他	合計
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	43,635	39,452,935
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17,070
計	43,635	39,470,005
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△6,582	641,488
セグメント資産	115,028	6,593,852
その他の項目		
減価償却費	11,635	74,707
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	55,506

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	28,464,254	39,426,370
「その他」の区分の売上高※	68,281	43,635
セグメント間取引消去	△14,730	△17,070
連結財務諸表の売上高	28,517,805	39,452,935

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△432,134	648,071
「その他」の区分の利益	△11,740	△6,582
全社費用※	△369,603	△367,880
連結財務諸表の 営業利益又は損失(△)	△813,478	273,608

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,776,046	6,478,824
「その他」の区分の資産	126,909	115,028
全社資産※	1,853,666	1,674,711
連結財務諸表の資産合計	7,756,623	8,268,563

※全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	61,188	63,071	17,281	11,635	1,263	4,846	79,733	79,553
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	13,831	55,506	—	—	3,710	17,679	17,541	73,185

※減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	22.07円	22.68円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり 当期純損失金額(△)	△1.03円	0.61円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会 社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△296,966	175,665
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△296,966	175,665
期中平均株式数(千株)	289,648	289,646

(重要な後発事象)

該当事項はありません。